

## ＜ SDGs に向けて長崎地方メディア発信の可能性 ～「平和」と「開発」をめぐる報道の在り方を事例として ＞

研究年度 令和元年度

研究期間 平成元年度

研究代表者名 賈曦

共同研究者名 アルン デソーザ、音好宏

### 1. はじめに

2019 年 11 月 23～26 日の間、ローマ教皇が 38 年ぶりに日本を訪問した。ローマ教皇はローマ・カトリック教会の指導者であり、世界でも最大規模の信者を抱える宗教的・倫理的・道徳的なリーダーとして大きな権威と影響力を持っている。今日教皇フランシスコが、世界で初めて被爆を体験した国である日本に訪問した際に、歴史的・政治的意義を持つものであり、国内外問わずメディアの関心を集めることになった。訪問先の一つである長崎の地方メディアも大いにその一連の動きを取り上げた。

長崎は世界から被爆地として、また日本におけるキリスト教のゆりかごとしても知られている。そのため、被爆地、被爆者の存在に加え、キリスト教のゆりかごというメッセージの発信拠点としての役割や影響力があると考えられている。また、原爆の被害と向き合ってきた中で、長崎の教会及びキリスト教信者は、平和や核兵器廃絶の要請を含めた姿勢を示し続けている。本研究では、今回の教皇の訪問をめぐり、教皇が強調するテーマと長崎の地方メディア(長崎新聞、地方テレビ局のニュース番組)の報道の在り方や内容分析を行い、地方メディアならではの特徴を明らかにし、さらに SDGs の推進との関連を検討するものである。

そのうち、今年度の成果として、今回の教皇フランシスコ訪日と長崎新聞の報道について考察して、論文をまとめた。

### 2. 研究内容

今回の訪日に、教皇フランシスコが強調するテーマを詳しく論じた上、地方メディアの中でも長崎新聞に注目し、2019 年 9 月から 12 月までの 4 ヶ月の報道を中心に、教皇フランシスコの来日をめぐるローマ教皇訪日の報道を、①記事数分析、②記事内容分析の 2 つの視点から行った。

また、教皇訪日に直接に携わった長崎新聞の記者及び編集報道部の方にインタビューを行い、長崎新聞は教皇訪問を独自の視点からどのように報道しているかについて考察した。このような作業を経て、長崎新聞における報道の全体的な傾向を明らかにした。

### 3. 研究成果

今回の調査は、教皇フランシスコが日本訪問で強調するテーマ及び長崎新聞における報道の内容分析を行った。カトリック教会の信者のトップとして、また外交指導者としてのローマ教皇という二つの視点から、核兵器廃絶及び環境を大切する呼びかけに焦点を当て分析した。また長崎新聞の報道に関しても、9月-12月の4ヶ月間にわたり調査・分析した。

相次ぎ発信したメッセージから、教皇の核廃絶への強い思いがはっきりと読み取れる。長崎と広島を訪問すること自体も、この思いの反映だと考えられる。また、地球環境問題への強い関心も伺える。今回教皇訪問のテーマは「すべての命を守るため」と掲げられている。回勅『ラウダート・シ』からとられたこのテーマは、教皇の地球を大切にする呼びかけが込められている。

このようなメッセージを受け、長崎新聞が関連記事をすべての面の種類に掲載されるよう、教皇の訪日を大いに報道した。教皇が長崎の爆心地公園で発信した核廃絶と平和のメッセージを全文掲載する以外、数多くの論説記事や核兵器廃絶のテーマを扱う記事を載せ、核兵器廃絶に関するメッセージをしっかりと伝えようと努めている。また、数的には差がみられるが、「原発」及び「環境問題」の報道にも力を入れている。

さらに、報道記事以外、コラム・オピニオンや特集記事を多く取り組み、教皇のメッセージに対する受け止め方や教皇訪問に対する思考など、教皇の訪問をめぐる民間の動きや教会の動きを重点的に報道している。特に被爆者団体や平和活動関係者の活動や、教会関係者の動きなどが長崎新聞の報道内容の重要な一部となっている。そこから長崎新聞の地元根差している報道姿勢が伺える。

結論として、今回の教皇フランシスコの訪日めぐり、長崎新聞は教皇が強調するメッセージを「核廃絶」(その延長線上にある原発)と「環境」問題が中心的な問題としてとらえ、直接に伝えることに加え、教皇訪問をめぐる民間の動きや教会の動きを報道することにより、教皇訪問に関する報道と地元の関連性をはっきりアピールするという報道の在り方が明らかになった。

#### 4. 終わりに

教皇フランシスコが 11 月 24 日に訪問した長崎の地元紙・長崎新聞は、今回の教皇フランシスコの来訪を、大々的、かつ、長期的に扱った。その報道量からも見てわかるとおり、教皇フランシスコの来日は、日本の他の地域以上に重要な意味を持つものであるとの認識で臨んだことが明らかになった。それは、教皇フランシスコの核廃絶に対する姿勢と長崎の歴史的な背景及び長崎のメディアの中心的な存在である長崎新聞の一貫した姿勢との共振した結果であるといえよう。

また、教皇フランシスコという長崎の遙か外部に存在するものの、歴史的な経緯のなかで、精神的にその存在に親和性を抱き続けてきたローマ教皇が、ハードな訪日スケジュールのなかで、自ら積極的に求める形で長崎の地を訪れ、この地をリスペクトしてくれたことは、これまでの「ナガサキ」として発信してきたメッセージを、世界的な視野から追認しにくれた認識することになったことは確かである。そして、その両者の存在と関係性を可視化する作業の一端を、地元・長崎新聞は紙面を通じて果たしたと言えるのではなかろうか。

また、長崎の地方メディアと全国メディアの違いについて、別途検討を加えることにし、論文をまとめている。

#### 5. 参考文献

- 教皇フランシスコ (著)、瀬本正之 (翻訳)、吉川まみ (翻訳) (2016) 『回勅 ラウダート・シーとともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会。  
『広島で平和アピール』1981 年 2 月 25 日 カトリック中央協議会  
<https://www.cbcj.catholic.jp/catholic/pope/johnpaulii/popeinjp/peace/> (2020 年 1 月 28 日)  
『教皇の日本司牧訪問 教皇のスピーチ 核兵器についてのメッセージ 長崎・爆心地公園 2019 年 11 月 24 日』、カトリック中央協議会 2019/11/24  
<https://www.cbcj.catholic.jp/2019/11/24/19818/> (2020 年 1 月 20 日)  
『教皇の日本司牧訪問 教皇のスピーチ 核兵器についてのメッセージ 長崎・爆心地公園 2019 年 11 月 24 日』カトリック中央協議会 2019/11/24  
<https://www.cbcj.catholic.jp/2019/11/24/19818/> (2020 年 1 月 20 日)  
『教皇の日本司牧訪問 教皇のスピーチ 平和記念公園にて 2019 年 11 月 24 日、広島』、カトリック中央協議会 2019/11/24  
<https://www.cbcj.catholic.jp/2019/11/24/19823/> (2020 年 1 月 20 日)  
『教皇の日本司牧訪問 教皇の講話 三重災害被災者との集まり 2019 年 11 月 25 日』カトリック中央協議会 2019/11/25  
<https://www.cbcj.catholic.jp/2019/11/25/19841/> (2020 年 1 月 28 日)  
東京新聞『教皇「原発、利用すべきでない」「完全な安全必要」踏み込む発言』2019 年 11 月 28 日 朝刊  
長崎新聞「前田枢機卿 法王に来崎要請へ」2018 年 9 月 14 日 朝刊

- 長崎新聞「核兵器の全廃向け 世界へ強く訴えて」2019 年 10 月 31 日 朝刊  
長崎新聞「核廃絶 とともに祈る」2018 年 11 月 19 日 朝刊  
吉川慧『ローマ教皇、東日本大震災の被災者と対話「日本は不屈さをもって、一致団結できる人々である」と示した』、2019/11/25  
<https://www.buzzfeed.com/jp/keiyoshikawa/pope-meeting-with-the-victims-of-311> (2020 年 1 月 28 日)
- Vatican News『教皇、離日後、機内で記者会見』2019 年 11 月 26 日  
<https://www.vaticannews.va/ja/pope/news/2019-11/papa-in-giappone-roma-intervista-a-bordo-20191126.html> (2020 年 1 月 28 日)
- Allman, M.J. (2008), *Who Would Jesus Kill? War Peace and the Christian Tradition*, Winona, MN: Saint Mary Press.
- Dennis, M. (2018), *Choosing Peace: The Catholic Church Returns to Gospel Nonviolence*, Maryknoll, NY: Orbis Books.
- Pollard, J. (2014), *The Unknown Pope: Benedict XV (1914–1922) and the Pursuit of Peace*, London: Bloomsbury.
- Hrynkow, Christopher (2019) “Nothing but a False Sense of Security”: Mapping and Critically Assessing Papal Support for a World Free from Nuclear Weapons, *Journal for Peace and Nuclear Disarmament*, 2:1, 51-81, DOI: 10.1080/25751654.2019.1610932
- Kimball, Daryl G. “Pope Calls for Nuclear Weapons Ban” in *Arms Control Today*, October 2015.  
<https://www.armscontrol.org/act/2015-09/news/pope-calls-nuclear-weapons-ban> (28 January, 2020)
- Magliano, Tony. “US Viewpoint: Pope Francis condemns nuclear weapons, so why the silence?” in *Independent Catholic News*. Dec 6th, 2019. <https://www.indcatholicnews.com/news/38471> (27 January 2020)
- Mickens, Robert, “Francis is dragging the Church, kicking and screaming, into... the 20th century” in *LACROIX International online* December 19, 2019  
<https://international.la-croix.com/news/francis-is-dragging-the-church-kicking-and-screaming-into-the-20th-century/11521> (28 January, 2020)
- Tainaka, Masato. “Pope expected to deliver powerful message on nuclear weapons” November 19, 2019. <http://www.asahi.com/ajw/articles/AJ201911190049.html> (28 January 2020)